

# KSC-SW900

## 取扱説明書

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION  
 © PRINTED IN USA B61-1005-00 (J) (A. A. I)

お買いあげいただきましてありがとうございます。  
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ■安全上のご注意

ここに示す事からは、安全に関する重要なものです。必ず守ってください。  
 絵表示は次の意味を表しています。



してはいけないことを表しています。  
 (禁止マーク)



しなければならないことを表しています。  
 (指示マーク)




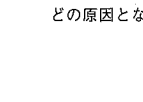
## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<p><b>取扱説明書に従って作業を</b></p> <p>取り付け、配線は製品の取扱説明書または取付説明書の指定通りに行ってください。          《従わないと、急ブレーキ時などにはずれて人にぶつかったり、また感電、火災などのおそれがあります》</p>	<p><b>作業時は、バッテリーの配線ははずす</b></p> <p>取り付け、配線などを行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。          《ショート事故が起こり、火災の原因となります》</p>	<p><b>ヒューズは規定のものを</b></p> <p>ヒューズが切れたときは、配線したコードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズボックスに表示された規定容量(アンペア数)のものと交換してください。          《規定以外のものを使うと、火災の原因となります》</p> <p>表示を確かめて!!          ●ヒューズ交換は、車の取扱説明書を参照してください。</p>	<p><b>重要保安部品には接続しない</b></p> <p>アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。          《事故などの原因となります》</p>
<p><b>保護用テープを巻く</b></p> <p>車両の金属部近くを通るコードには保護用テープを巻いてください。金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。          《コードが傷つくと、感電やショート事故による火災などのおそれがあります》</p>	<p><b>取り付け後、車の点検を</b></p> <p>製品の取り付けが修了したら、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。          《配線ミスなどで車の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります》</p>	<p><b>ビニール袋はかたずける</b></p> <p>製品の包装に使われているビニール袋は、子供や幼児がかぶってあそんだりしないよう、手の届かない所にかたずけてください。          《窒息の危険があります。》</p>	<p><b>12V以外の電源では使用しない</b></p> <p>電源は12V マイナスアース専用です。これ以外では使用しないでください。          《火災の原因となります》</p> <p>●電源は車の取扱説明書で確認できます。</p>
<p><b>設置は安全な場所に</b></p> <p>取り付けに際しましては、前方の視界を妨げない場所や、車の運転の邪魔にならない場所、急停車等の場合に、同乗者に危険を与えないような場所に取り付けてください。</p>	<p><b>コード接続は正しく</b></p> <p>スピーカーコードはスピーカーの入力コードへ直接配線して下さい。車のボディ等に直接ねじ止めをしたりスピーカーコードの〇側を共通にして配線すると破損・火災の原因となります。</p>	<p><b>タンクや電気配線を傷つけない</b></p> <p>車体に穴を開けて取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などを絶対に傷つけないようにしてください。          《火災の原因となります》</p>	<p><b>電源の被覆を切った配線はしない</b></p> <p>電源コードの被覆を途中で切って他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。          《ショート事故が起こり、火災の原因となります》</p>
<p><b>取り付けには専用の付属品を</b></p> <p>製品の取付の際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付不備により、運転中に製品が外れて人に当たるなど、けがの原因となります。</p>	<p><b>異常かな?.....すぐ使用中止</b></p> <p>次のような異常が起きた場合、すぐに使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●音が出ない</li> <li>●水がかかった</li> <li>●煙が出る</li> <li>●変な音や匂いがする</li> <li>●金属や紙などの異物が入った</li> </ul> <p>《そのまま使用を続けると火災、その他の事故の原因となります》</p> <p>電源スイッチを切り、安全を確かめてから、販売店、ケンウッドサービスセンター、営業所へご相談ください。</p> <p>POWER OFF!</p>	<p><b>指定以外のコードは使わない</b></p> <p>取扱説明書などに指定されたもの以外のコードは使用しないでください。          《発熱し、火災などの原因となることがあります》</p> <p>●指定コードが不明の場合は、販売店又は当社お客様相談室にお問い合わせください。</p>	<p><b>裏ぶた、カバーを開けない 改造しない</b></p> <p>《火災その他の事故の原因となります》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●点検・修理は、販売店、ケンウッドサービスセンターまたは営業所へご相談ください。</li> <li>●お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。</li> </ul>


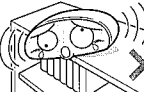


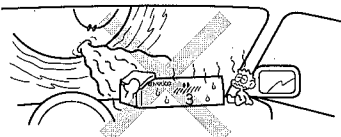
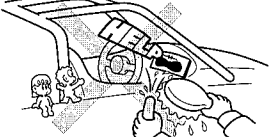
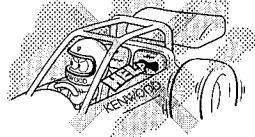
## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<p><b>オーディオの操作は、停車させてから</b> カーオーディオの操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。 《運転しながら行うと、気をとられて交通事故の原因となります》</p> 	<p><b>大音量は禁止</b> 走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。 《周りのできごとに気づかず、交通事故の原因となります》</p> 	<p><b>異状な音を出し続けない</b> スピーカーを長時間、音がわれたり歪んだ状態で使わないでください。 《発熱し、火災の原因となることがあります》</p> 	<p><b>異物を入れない</b> 製品には放熱のための通風口が多く開いています。そこにゴミやドライバーなどの工具をむやみに入れないでください。 《ショート事故が起こり、感電や火災などの原因となります》</p> 
--	---	---	---

## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

<p><b>コードを引っ張らない</b> コネクタを外すときは、リード線を引っ張らずにコネクタ本体をもってロックを外してください。リード線の断線や、接触不良の原因となります。</p> 	<p><b>車以外には使わない</b> 製品は車に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。 《取り付け不備などにより、落下してけがをするおそれがあります》</p> 	<p><b>発熱部には手を触れない</b> アンプ付きスピーカーには、アンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は、高温になります。使用中は、スイッチなどの操作部以外には手をふれないでください。 《やけどをするおそれがあります》</p> 	<p><b>通風口をふさがない</b> 製品の通風口や放熱器をふさがないでください。 《内部が高温になり、火災の原因となることがあります》</p> 
<p><b>直射日光はさける</b> 直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所はさけてください。</p> 	<p><b>水をかけない</b> 雨が吹き込むところや、水がかかるところ、湿気の多い所はさけてください。</p> 	<p><b>ほこりをさける</b> ほこりがかかるところや、振動の多い場所、不安定な場所はさけてください。</p> 	

### ■取り付け上の注意

- 取り付け、配線などの作業を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。但し、車によっては、バッテリーを外すと機能の一部（ラジオのプリセットなど）が失われますのでご了承ください。
- 事故防止のため、運転の邪魔にならないトランクルームなどに、必ず固定してください。
- 取り付けが終わったら、バッテリーにケーブルを接続する前に、もう一度取り付けや配線を確認してください。
- ヒューズが切れた場合は、各コードがショートしていないことを確認後、切れたヒューズと同じ容量のヒューズに交換してください。交換してもすぐ切れる場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

### ■使用上の注意

- エンジンをつめた状態で使用しますと、バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- このサブウーファーを、大出力のアンプと組み合わせてご使用になる場合、トーンコントロールや、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎたり、またグラフィックイコライザーの低音域を上げ過ぎたりすると、サブウーファーに過大な負荷が加わり、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光に当てたまま放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、エアコンを作動させるか、窓をあけて車を走らせ、車内の温度を下げてからご使用ください。
- リモコンを手元で操作する場合には、必ず別売の延長ケーブルCA-R900 ¥2,500（標準価格、税別、取付費別）を使用してください。指定以外のケーブルを使用すると、サブウーファーやセンターユニットに過大な負荷が加わり故障の原因となります。
- パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

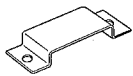
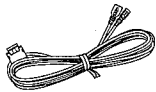






### ■安全運転のために

- 運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。またカーステレオの操作は、停車中に行なうようにして安全運転に心がけてください。
- ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

### ■必要工具

プラスドライバー、プライヤーあるいはペンチ、電動ドリル、カッターナイフ、ビニールテープ

## ■ 付属部品

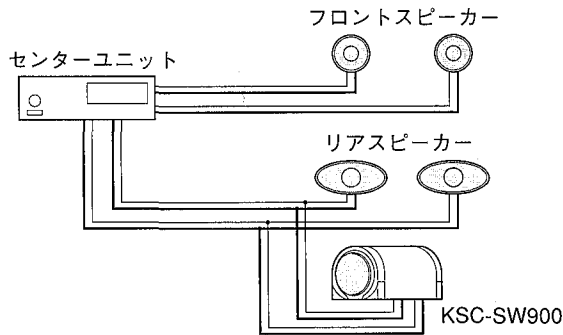
No.	部品名	外形	数量	No.	部品名	外形	数量
①	固定金具		4	⑤	電源延長コード		1
②	タッピングねじ (φ4×20)		8	⑥	10Pコネクタ付ハーネス		1
③	ベルト		2	⑦	エレクトロタップ		4
④	スピーカーコード		2	⑧	マジックテープ		2

## 接続のしかた

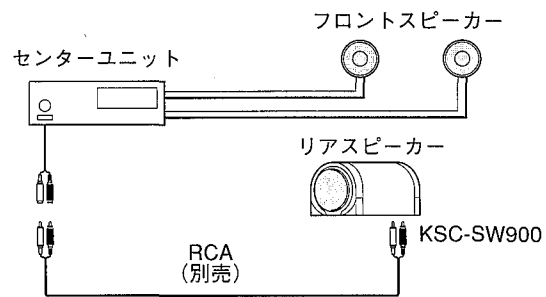
カーステレオをより効果的に楽しむための代表的な例です。参考にしてください。

### ■ 使用例（接続システム例）

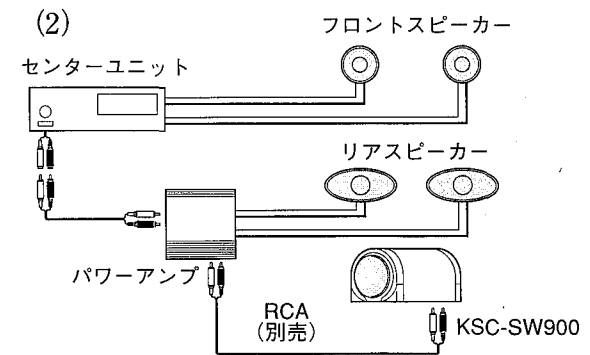
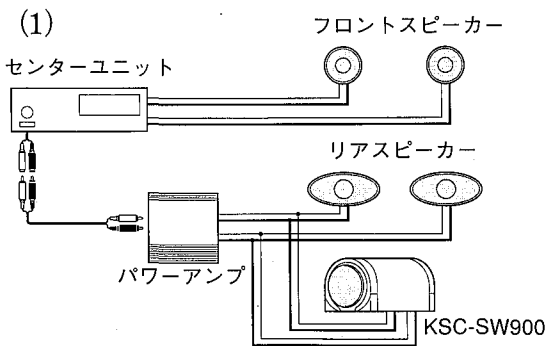
#### 1. アンプ内蔵センターユニットとの組み合わせ



#### 2. ノンフェーダー（サブウーファーコントロール）付のセンターユニットとの組み合わせ



#### 3. 外部パワーアンプとの組み合わせ



### ■ 接続時の注意

- センターユニットやパワーアンプなどと接続する場合には、この「取扱説明書」だけでなく、接続される機器に付属している「取扱説明書」も併せてご参照ください。
- 製品にはRCAピンプラグコードは付属していません。RCAピンプラグコードを使用した接続をする場合には、別途用意する必要があります。

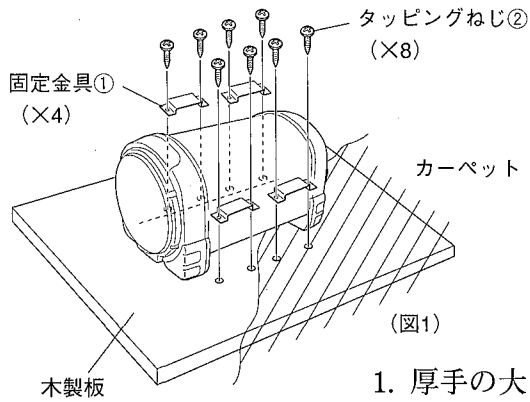


# 取り付けかた

スピーカーを固定する前に、音の確認を行います。

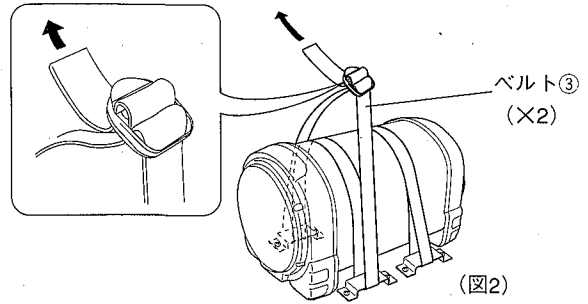
スピーカーの置き場所・向きをかえたりして、よりよい音質・音場になる様にします。

## ■ 固定のしかた



(図1)

ご注意：安全のため、次に示す方法でしっかり固定してください。

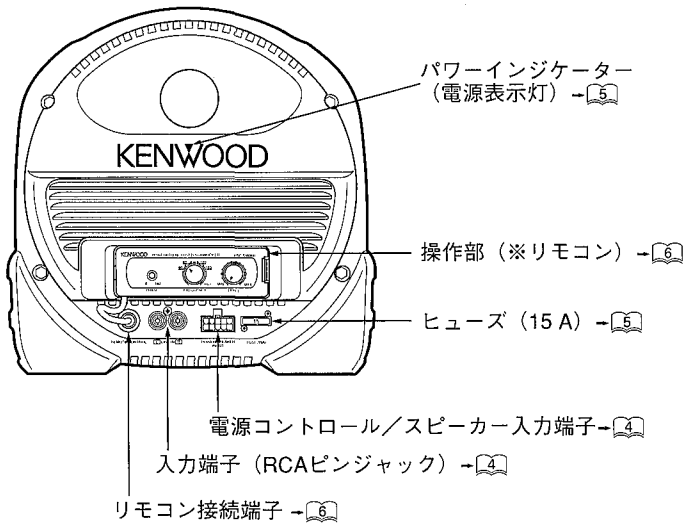


(図2)

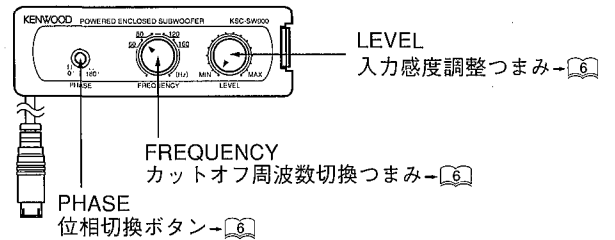
1. 厚手の大きめな板を用意して、車のカーペットの下におきます。(図1)
2. 付属のタッピングねじを用いて、固定金具を取り付けます。(図1)
3. 2本のベルトを用いて、スピーカーをしっかり固定します。(図2)

# 操作

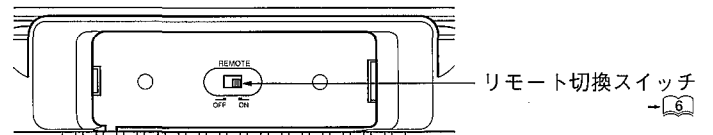
## ■ 各部のなまえ



### ● 操作部 (※リモコン)

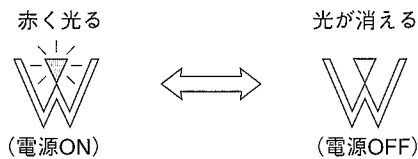


### ● 操作部奥側 (※リモコン収納部)



※別売の延長コード CA-R900 (6m) を使用した場合、離れたところでもリモコンとして操作できます。→ 6

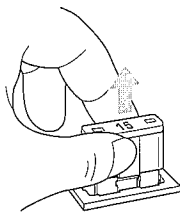
## ■ パワーインジケータ (電源表示灯)



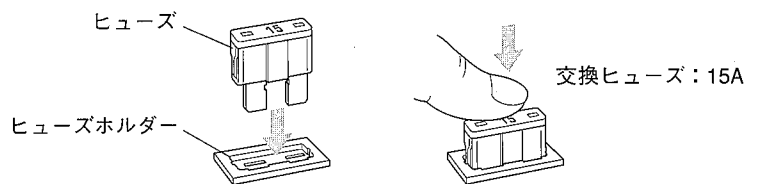
## ■ ヒューズ交換の仕方

指定容量のヒューズを交換します。

抜き方: 指でつまんで、上に引っぱります。



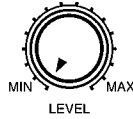
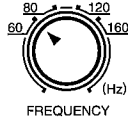
差し込み方: ヒューズをヒューズホルダーに軽く入れて、指で完全に押し込みます。



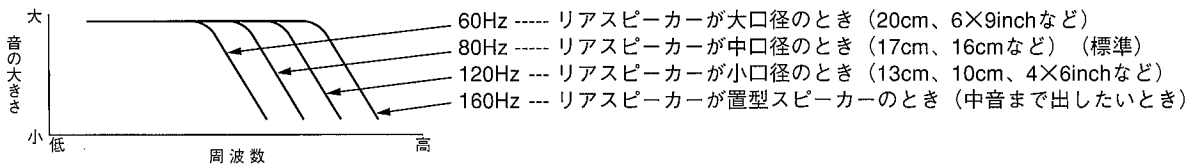
# 操作

## ■基本操作

1. FREQUENCYつまみを切り換えて、ターンオーバー周波数（カットオフ周波数）を決めます。  
リアスピーカーから出ている低音と、本機の低音のバランスがよい位置に設定します。
2. LEVELつまみをまわして、低音レベルを調節します。  
好みの音量に調節します。
3. 低音の位相を変えてみる  
サブウーファアの置き場所と、カットオフ周波数の関係で、低音の聴こえ方がPHASE切換ボタンによって変わることがあります。切り換えて低音がよく聴こえる方に設定します。



● ターンオーバー周波数：高域をカットする周波数が設定できます。

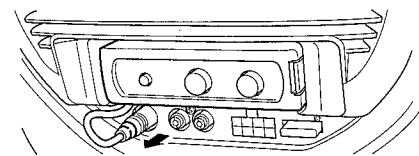


## ■別売延長コードCA-R900 ¥2,500 (標準価格、税別、取付費別) を使用して離れたところで操作する

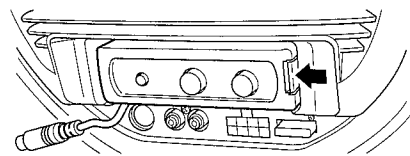
### ● リモコンの脱着

リモコンを本体から取り外す際には図を参照してください。(取り付けは逆の手順で行います。)

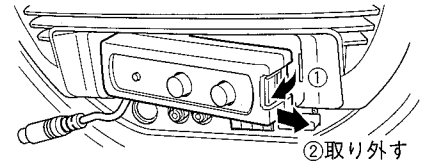
1. ジャックを抜きます。



2. リモコン右側のヒンジをつまみます。

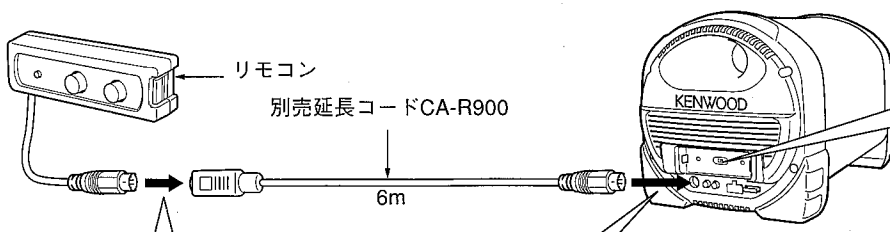


3. ①リモコン右側から浮かせ、②リモコン左側のツメを外すように斜め右側へすべらせて取り外します。



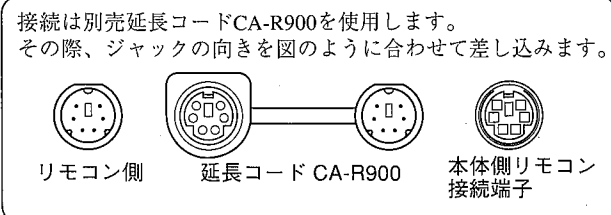
※脱着繰り返しに伴うこすれ、当たり等により、塗装がはがれる場合があります。ご了承ください。

### ● リモコンの接続



リモート切換スイッチは通常はON側にしておきます。

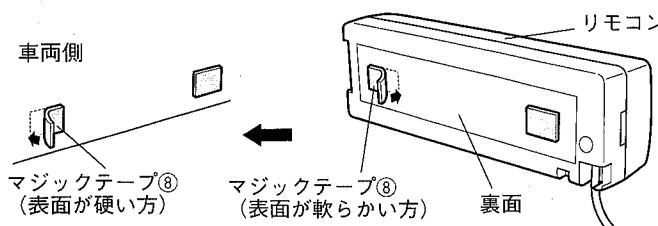
万一、リモコンを紛失してしまったり、修理をご依頼の際に、OFF側に切り換えることにより、本体から音が出ます。但し、各操作はできません。(この際延長コードは接続端子から抜いておきます。)



**ご注意：**  
 ジャックの向きを間違えて無理に差し込むと故障につながります。リモコンを接続したままリモート切換スイッチをOFFにすると音は出ません。ONにしてご使用ください。  
 延長コードには必ず指定のコード (CA-R900) をご使用ください。指定外のものを使用すると故障の原因となります。接続は電源を切った状態で行ってください。

### ● リモコンの設置

付属のマジックテープ⑧を使って車両側に取り付けます。



**ご注意：**  
 運転の邪魔にならない場所に設置してください。直射日光が当たる場所やヒーターの熱風が直接当たる場所は避けてください。  
 貼る場所の汚れをよく落してから貼ってください。  
 マジックテープ⑧を貼ったまま本体リモコン収納部にリモコンを戻すことはできません。

# 故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障とおもわれることがあります。  
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない(パワーインジケータが点灯しない)	●ヒューズが切れている。	●電源コードの(+)(-)接続確認とコード類がショートしていない事を確認後、指定容量のヒューズと交換してください。 ●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。
	●10ピン接続用コードの電源用端子(黄色)が接続されていない。 ●10ピン接続用コードのパワーコントロール用端子(青色)が接続されていない。 ●10ピン接続用コネクタの差し込み不完全。 ●10ピン接続用コードのグランド用端子(黒色)が接続されていない。	●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。 ●すべてのコードの接続を確認後、バッテリーの(-)側ケーブルを接続してください。 ●端子を奥まで確実に差し込んでください。 ●グランド用端子を車輻の金属部(塗装面は不可)に確実にネジ止めしてください。
	●車のバッテリーの(-)側ケーブルが外れている。	●すべてのコードの接続を確認後、バッテリーの(-)側ケーブルを接続してください。
	●センターユニットのアッテネーターがONになってる。 ●LEVEL(入力感度)のつまみがMIN(最小)になっている。 ●スピーカーコードが間違っって接続されている。 ●接続端子の接続不良。 ●リモコンのコードが抜けている。 ●リモート切換スイッチがOFFになっている。	●アッテネーターを解除してください。 ●音量を適度に上げてください。 ●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。 ●端子を奥まで確実に差し込んでください。 ●コードをリモコン接続端子に接続してください。 ●リモート切換スイッチをONにしてください。
音が出ない	●LEVEL(入力感度)のつまみがMAX(最大)になっている。	●適正音量で使用してください。
音質が悪い(音が歪む)	●スピーカーコードの(+)(-)接続が合っていない。 ●10ピン接続用コードのグランド用端子(黒色)の接触不良。 ●フロントスピーカー又はリアスピーカーとのバランスが取れていない。	●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。 ●グランド用端子を車輻の金属部(塗装面は不可)に確実にネジ止めしてください。 ●位相切換ボタンを0°又は180°に切り換えて音質のバランスを取ってください。

## 定 格

ご注意：  
これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更することがあります。

		KSC-SW900	
形式		アンプ内蔵、据置型サブウーファーシステム	
[アンプ部]	最大出力	50W/2Ω+50W/2Ω(デュアルボイスコイル駆動型)	
	周波数特性	20~160Hz	
	S/N比	85dB	
	カットオフ周波数切換	60Hz, 80Hz, 120Hz, 160Hz(4段階の切換式)	
	フェイズ切換	0°, 180°	
	定格入力レベル	RCAピンジャック	30mV/10kΩ
		スピーカー	1.0V/1kΩ
	電源	DC14.4V(動作範囲10.5~16V)	
	最大消費電流	12A	
	ヒューズ容量	15A	
[キャビネット部]	方式	バスレフ型	
	材質仕上	カーペット貼り	
使用スピーカー		200mm ブルーコートコンケーブコーン	
外形寸法		(幅)270×(高さ)270×(奥行)480mm	
正味重量		6.9kg	

# 保証書とアフターサービス (よくお読みください)

## 保証書 (別添)

この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、最低6年保有しています。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス・センター、営業所へお問い合わせください。

(お問い合わせは、添付の“ケンウッドサービス網一覧表”をご覧ください。)

## 修理を依頼されるときは

7ページの“故障かな?と思ったら”に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。

保証期間内でも安全上の注意事項を守らない使用で故障及び破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

### 保証期間中は

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス・センター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金の仕組

(有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます。)

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

### 便利メモ

お買い上げ店名

☎ (       )       —

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京)電話 (03)3477-5335

〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪)電話 (06)6357-5335

〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)